

シラバス (授業計画)

| 授業科目名 | 開講学年・学期 | 必・選 | 単位数 | 担当教員名 |
|--|---------|-----|-----|-------|
| 情報科学特論 | 1・2年生 | 選択 | 2単位 | 荒平 高章 |
| <p>授業の到達目標及びテーマ 情報の収集、加工、蓄積、伝達という観点から情報科学システムを分析し、経営情報学の研究において必要となる基礎的な知識の習得を目的とする。</p> | | | | |
| <p>授業の概要 計算機の基本構成や動作原理、アルゴリズムとデータ表現、応用ソフトウェア、プログラミング言語、インターネットの仕組みおよび特徴、ウェブ検索、セキュリティ、プレゼンテーション資料の作成法などについて修得する。また、授業内容に関連するレポート作成やプレゼンテーションを実施する。</p> | | | | |
| <p>授業計画</p> <p>第1回 情報科学と計算機の基本構成、OS 第2回 ウェブサーフィン、情報検索 第3回 情報の表現とアルゴリズム 第4回 プログラミング言語、ファイルシステム 第5回 データベース 第6回 ウェブサーバ、HTML、PHP 第7回 インターネットの仕組み、特徴 第8回 情報セキュリティ (ファイアウォール、プロキシ) 第9回 情報セキュリティ (マルウェア、暗号技術) 第10回 ウェブ検索 第11回 LAN、WAN、プロトコル 第12回 アプリケーションソフトの紹介 I (Word、Excel、Power Point、LaTex、TeraPad) 第13回 アプリケーションソフトの紹介 II (Word、Excel、Power Point、LaTex、TeraPad) 第14回 公開鍵暗号、デジタル証明 第15回 プレゼンテーション、著作権、個人情報保護法 第16回 レポート、定期試験等</p> | | | | |
| <p>履修上の留意点、準備学習等 (事前・事後学習) 授業計画に従ってテキストの該当箇所を熟読しておくこと。 用語の整理や参考書等を利用して授業内容の理解を深めておくこと。 各回、少なくとも、1～2時間程度の事前・事後学習が必要である。</p> | | | | |
| <p>テキスト 書名：コンピュータ概論 (ソフトウェア・通信ネットワーク) 著者：橋本洋志 発行所：オーム社</p> | | | | |
| <p>参考書・参考資料等 コンピュータネットワーク第5版、アンドリュース・タネンバウム、日経BP</p> | | | | |
| <p>成績評価の方法・基準 プレゼンテーション：30%、レポート：30%、試験：40%</p> | | | | |